



『女性に多い膀胱炎』

しもじ内科クリニック院長

下地 栄壮



非常に身近な病気の「膀胱炎」ですが、意外と悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。

膀胱炎には、急性(単純性)膀胱炎、複雑性膀胱炎、間質性膀胱炎などがありますが、一般的に言われている膀胱炎は「急性(単純性)膀胱炎」です。今回はこの急性膀胱炎についての正しい知識と予防法などについてご説明します。

急性膀胱炎は、陰部に付着している菌が尿道を通過して膀胱内に侵入し増殖することが原因で起こります。原因となる菌の8割は大腸菌です。大腸菌は大腸に住み着いている常在菌で、便に含まれる他に肛門の周囲にもいます。女性は肛門や膣から尿道までの距離が近く、尿道が約4cmと男性の1/4程度と短いため、大腸菌が膀胱に侵入しやすい構造になっています。閉経前の女性は膣の常在菌が膣内を強い酸性に保ち、有害な菌が繁殖しないように守っていますが、性行為などによって大腸菌が繁殖すると発症しやすくなります。一方、閉経後の女性は膣内の常在菌が減少しており、膀胱炎を繰り返しやすい環境になっています。

<症状>

膀胱炎の症状で代表的なものは、頻尿(おしっこの回数が増える)、残

尿感(おしっこの後に残った感じがある)、排尿時痛(おしっこをする時の下腹部痛または下腹部の違和感)などです。血尿(膀胱壁が荒れることで出血が起こる)を伴うこともあります。膀胱炎では基本的に発熱はありません。発熱があり、膀胱炎のような症状がある場合は、膀胱の菌が尿管を逆行して腎臓まで到達した腎盂腎炎(じんうじんえん)を疑います。

<検査>

尿検査を行い、白血球や赤血球、菌の数を調べます。また、どのような菌に感染しているのかを確認します。

<治療>

抗生剤の内服を行います。最近では、薬剤耐性菌も増えているので、効果が不十分な場合は抗生剤の種類を変えます。また、十分な水分摂取を心掛け、排尿と共に菌を体外に排出するようにします。

<予防法>

- ① 抗生剤を最後まできちんと飲む
- ② 水分を多めにとる
- ③ 尿をなるべく我慢しない
- ④ 性行為の後は排尿する
- ⑤ 排尿・排便後は前から後ろに拭く
- ⑥ 生理パッドや尿漏れパッドはこまめに取り換え清潔を保つ



膀胱炎には菌が関係する膀胱炎と関係しない膀胱炎があります。ほとんどの原因は大腸菌ですが、予防法を心掛けても膀胱炎を繰り返す場合は、尿路結石や癌などがないか詳しい検査を行います。



しもじ内科クリニック(nico nico studio)

東区三苦3丁目2-49(福岡銀行美和台支店隣り)

TEL:092-605-6300